

富士のカリフラワー 「富士の箱入り娘」に命名

FUJI NO HAKOIRI MUSUME



農家の気持ち、
手塩にかけた
富士の箱入り娘

商品特徴
有機肥料主体の栽培のため、
甘みとコクがあります

レシピ/カリフラワーのチーズ焼き
材料 2人分
カリフラワー 1/2個
パルメザンチーズ 40g
オリーブオイル 大さじ1
塩コショウ 適量
作り方
1. カリフラワーを1口大に切る。
2. フライパンにオリーブオイルを熱し、カリフラワーを炒める。
3. パルメザンチーズを加えて絡め、塩コショウで味を調える。
4. 盛り付け、チーズを溶かすまで焼く。

富士市農業振興推進協議会
JAふじ伊豆富士地区 富士営業経済センター 地区営業販売課
静岡県富士市松本 12-1 tel.0545-61-8124

出荷規格を統一する目ぞろえ会開催



▲生産者が品質や等級を確認



▲農家の気持ち 手塩にかけた「富士の箱入り娘」

今シーズンから「富士の箱入り娘」と名付けて販売し、ブランド化とPRに努めています。

富士のカリフラワーは、品種を純白系にそろえ、有機肥料を主体に栽培し、花蕾の際立つ白さを保つために手作業で外葉を折り曲げて日焼けを防ぐなど会員22人が手塩にかけて栽培しています。昨年11月～4月までの期間で27トンの出荷を見込んでいます。



9 品質と安全基準の確保をつくらう



12 つくも責任をつかう責任

「富士の箱入り娘」を道の駅で初販売会



▲富士川楽座「楽座市場」前で販売する職員

富士地区営農販売課は12月18日、道の駅「富士川楽座」で行われた来館者7,777万人達成を祝う「感謝祭」で、市と協力してカリフラワーのPRを兼ね、販売会を開催しました。

「まるで花束」ラジオでPR



▲ナビゲーターの亀井留巳さんが「まるで花束のよう」とカリフラワーを称賛する姿を見て微笑む藤森さん⑥

富士市・富士宮市を中心に放送されているビジネス情報番組ラジオエフの「カラーオブサックス」で12月20日、富士市のカリフラワーが紹介され、富士地区洋菜部会の藤森守さんがカリフラワーの栽培方法やブランド化に向けての秘話を話しました。

農林水産業功労で4人表彰

富士市は12月19日、農林水産業の振興と発展に寄与した個人を表彰する「富士市農林水産業表彰式」をラ・ホール富士で行い、4人を表彰しました。小長井義正市長は「コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による危機的状況でも、不断の努力と生業に取り組む真摯(しんし)な姿勢に心打たれる。功績と皆さんの家族や関係者の支援に感謝している」と話しました。



14 海の豊かさを守ろう



15 山の豊かさを守ろう

受賞者 功労表彰

農業／杉山一行さん
(松岡)

農業／勝又 匠さん
(中野)

林業／勝又道正さん
(大淵)

水産業／志村正人さん
(五貫島)



▲55年間イチゴ栽培に尽力した杉山一行さん



多彩に発信! 富士市の農産物の魅力に迫る

静岡第一テレビ「ごちそうカントリー」に出演!

富士川地区のキウイフルーツ 11月13日(日)に放送されました

富士川地区は静岡県を代表するキウイフルーツの産地で、「ヘイワード」「東京ゴールド」「レインボーレッド®」など年間100トンを生産しています。番組MCの國本良博さんと澤井志帆さんが畑で生産者の谷津倉寛さんから話を聞き、キウイフルーツの魅力に迫りました。



▲富士地区富士川キウイ部会の谷津倉寛会長(中央)



▲番組と「田子の月」のコラボ商品「キウイ大福」を限定販売

▶キウイフルーツ(ヘイワード)



NHK静岡放送たっぷり静岡「うまいら!」に出演!

大淵地区の桃富士(桃カブ) 12月8日(木)に放送されました

富士地区洋菜部会の紅白カブ生産者の渡邊正章さんが出演し、栽培のこだわりや農家直伝のレシピを紹介しました。富士地域で生産する「富士の祝菜 桃富士 雪富士(紅白のサラダカブ)」は両カブとも手で皮をむくことができる珍しいカブです。食感は柔らかく、果物のような甘みがあり、サラダや漬物に最適で、加熱するとさらに甘みが増します。



▲手で皮をむいた桃富士(桃カブ)



▲生産者の渡邊正章さん⑧



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを

3年ぶり「組織の集い」で女性部披露



▲富士地区女性部島田支部によるフラダンス

富士地区組織課は11月2日、各組織を対象にロゼシアターで「組織の集い」を開催しました。当日は、舞の海秀平氏を講師に招き、講演会を開催。女性部による銭太鼓やフラダンスなどの披露もあり、組織活動やJA事業を肌で感じ、交流を深めました。

TOPICS



協力:富士地区青年部大淵支部



協力:富士川地区農家組合員



協力:岩本山とかがね堤を守る会



協力:富士川地区農家組合員



協力:富士警察署・丘支店



トルコギキョウ

富士地区ではトルコギキョウを施設園芸にて、白やピンク、紫や黄色、一重咲きの他、優しく上品な印象でボリューム感のある八重咲きなどさまざまな品種を生産しています。花束などにアレンジして、大切な人に贈ってみませんか？

【花言葉】優雅・感謝・希望
※色により花言葉が異なります。

旬 通年



ハウレンソウ

湧き水のきれいな吉永地区で戦後から栽培される富士のハウレンソウは、有機肥料を主体に微生物の多い土づくりにこだわり生産されています。冬場のハウレンソウは、霜にあたることで栄養分が増し、ビタミン類やミネラル豊富で、強い甘みが特徴です。



旬 11月～3月頃



農家直伝簡単レシピ 作り方

- ①塩を入れた湯に根元からハウレンソウを入れ、葉を沈めて、30秒茹でる。冷水に落とし、水気をしっかり絞る。
※水にさらすと灰汁が抜けます。
- ②一口大に切り、ツナマヨと塩昆布をのせて完成。

浜育ち田子っこ玉葱

海風が通り抜ける田子浦地区のミネラル豊富な砂地で育った「浜育ち田子っこ玉葱」は、肉厚で辛みが少なく、皮が薄くて柔らかい玉葱です。生を薄切りにしてかつお節と醤油をかけて簡単サラダに、焼いたり揚げたりして玉葱の甘みとうま味を味わってみませんか？

旬 3月中旬～6月



不知火(しらぬい)

須津・岩松・富士川地区などで栽培する不知火は、ヘタの部分飛び出ている特徴的な形で、皮がむきやすく果汁たっぷり、高糖度で種がほとんどない食べやすい柑橘(かんきつ)です。

「デコポン®」と「不知火」の違いは？

不知火は、清見とポンカンをかけ合わせた品種です。JA熊本果実連が商標登録し、不知火の中でも糖度13.0度以上、酸度1.0度以下という条件を満たしたものが「デコポン®」と呼ばれています。



旬 3月～4月



旬の農産物だよ!



アーサイ

中国が原産の「アーサイ(児菜)」は、アブラナ科の一種でからし菜の変種とされ、別名「子持ち高菜」とも呼ばれています。コリコリとした食感、生で食べると辛みがあり、ゆでると辛みが減って甘みが増す珍しい野菜です。JAふじ伊豆の「産直市いづみの里」で販売しています。GA BA(ギャバ)やミネラルが豊富なスーパーフードです。

旬 2月～3月



産直市だより

産直市の情報は、産直市に配架している「産直市だより」をご覧ください。旬の情報やおすすめ品など食の情報を幅広く掲載しています。



↑産直市情報はホームページからご覧いただけます。

自己改革

生産組織と意見交換会 産地構想を協議

JAふじ伊豆富士地区は、将来を見据えた「農業生産の拡大」と「ブランド力を生かした販売の強化」に向けて、生産部会の意見を把握するアンケート調査を行い、課題や問題点を共有し、解決策を検討する意見交換会を行いました。各部会の役員が出席し、販売強化や雇用対策(労働力のあわせ等)、地域を超えた営農指導、行政との連携などについて協議しました。富士地区では生産者との対話を今後も深めていきます。



あいさつする藤沼和明常務



富士地区青年部



富士地区花き部会・しきみ部会



富士地区洋菜部会・農業アカデミー部会



富士地区苺部会



富士地区荒茶共販委員会

■営農アドバイザーの取り組み 課題解決に向けた活動の実践

Farming Adviser

■柑橘

須津営農経済センター
さとう としき
佐藤 俊樹

農家組合員の皆さまの所得向上のため、耐水性や光の反射率が高い「タイベックシート」を活用したマルチ栽培を推奨し、柑橘の糖度上昇や害虫行動抑制などにつなげて生産安定化を目指します。

Farming Adviser

■シキミ

大淵営農経済センター
すぎやま ゆういち
杉山 雄一

シキミ栽培に適した専用のロング肥料を施肥することで、農家組合員の皆さまの労働時間、雇用賃金やコスト削減を図り、安定した品質を保持して所得向上を目指します。

Farming Adviser

■シキミ

大淵営農経済センター
えんどう まさる
遠藤 優

シキミの病原や治療法などを研究して適切な農薬の使用を農家組合員の皆さまに提案し、コストや製品ロスの削減に取り組めます。

Farming Adviser

■トウモロコシ・カリフラワー

大淵営農経済センター
ふじもり けん
藤森 健

トウモロコシは2Lサイズが高価格帯で販売されるため、BS資材「リダバイタル」や鳥獣害対策資材「キープアウト」を活用した有効な栽培基準を作成します。カリフラワーも同様にBS資材を活用し、ストレス軽減につなげて品質向上、安定出荷を目指します。

※BS資材とは、植物や土壌に良い働きをもたらすさまざまな物質や微生物です。植物や土壌が本来持っている自然な力を引き出して、植物に良好な影響を与えます。